



30年以内の南海トラフ地震の確率が高い中で、
私たちにできることとは？

山梨県立身延高等学校 2年
中野 陽香 依田 紗采



目次

- 1, 研究背景
- 2, 文献調査
- 3, 課題設定
- 4, 研究の意義、目的
- 5, 方法
- 6, 結果
- 7, 考察
- 8, 結論
- 9, 今後の研究
- 10, 参考文献

1, 研究背景

公益財団法人日本ユニセフ協会 (閲覧日:2023年1月11日)
<https://www.unicef.or.jp/kodomo/sdgs/17goals/11-cities/>



2030年までに、貧しい人びとや、特に弱い立場にある人々を守ることを特に考えて、**地震などの災害によって命を失う人や被害を受ける人の数を大きく減らす。**

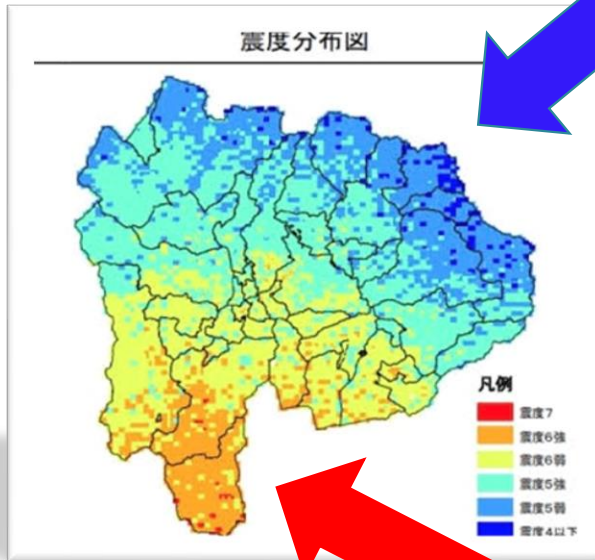


私たちが住む山梨県の災害について調べることにした

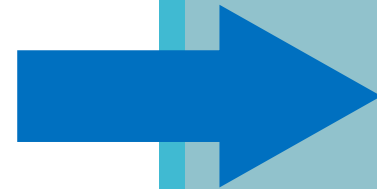
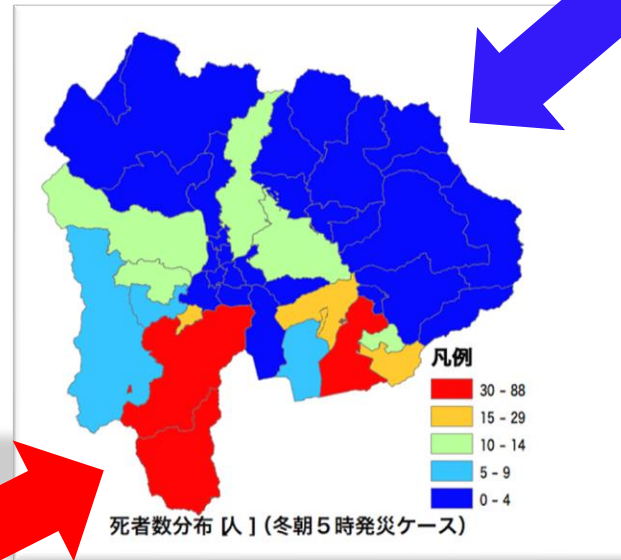
〈図1〉

地震	マグニチュード	地震発生確率 (30年以内)
南海トラフ	8~9クラス	70%~80%

〈図2〉



〈図3〉



わかることは？



2, 文献調査

イマジネーション能力 を大切にする

※イマジネーション能力とは
「自身が経験していないことや未来のこと、現実には存在しないことを、頭の中で思い描く力」

実施する前に技術士として実施すべき課
に多いと考えられる。阪神・淡路大震災など
過去の被災経験から考えると、地震防災には、大き
く分けての基本的な課題がある。第1に災害抑
止力の向上あり、第2に災害の被害軽減策の実施、
第3に復旧・復興への対心である。特に第1の課題が
重要である。具体的には災害に対するイマジネーシ
ョン能力を向上することである。住民、行政マン、

文献調査より

一人ひとりが地震のことを**想像**し、
万全な準備をすることが大切



3, 課題設定

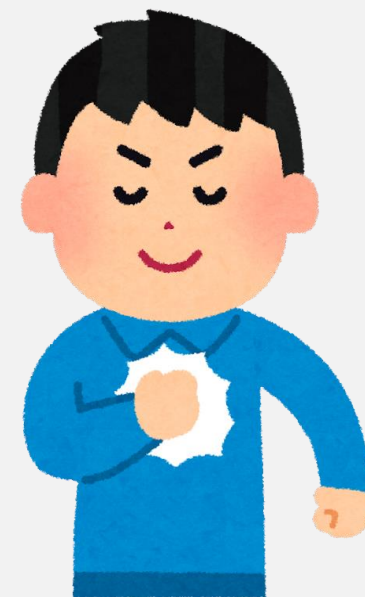


30年以内の南海トラフ地震の確率が高い中で、
私たちにできることは？

4, 研究の意義、目的

南海トラフ地震が起こった際に、私たちにできること・事前にできる備えは何か知る必要がある。

また、課題を解決することによって
少しでも被害がでないように貢献するため。



5, 調査方法

- ①文献調査
- ②アンケート
- ③フィールドワーク

▪ アンケート：対象：山梨県立身延高等学校2年生60人と
教職員51人(計およそ110人)

▪ 目的：南海トラフに対する危機感や備えは
どれくらいしているのか把握するため

▪ 項目：

①災害時用の備蓄品または非常用持ち出しバックがありますか？

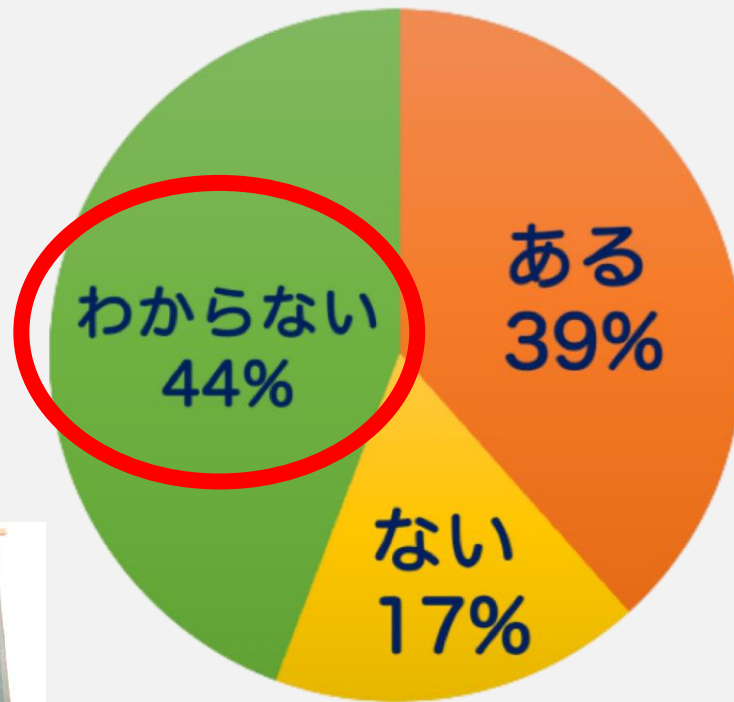
②地域の防災訓練に参加したことがありますか？



6, 結果

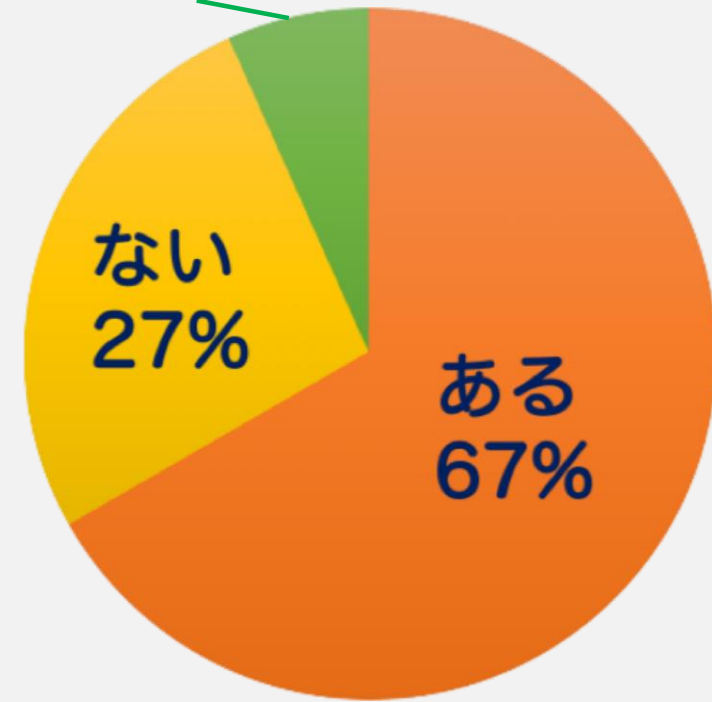
①災害時用の備蓄品または非常用持ち出しバックを持っていますか？

2年生

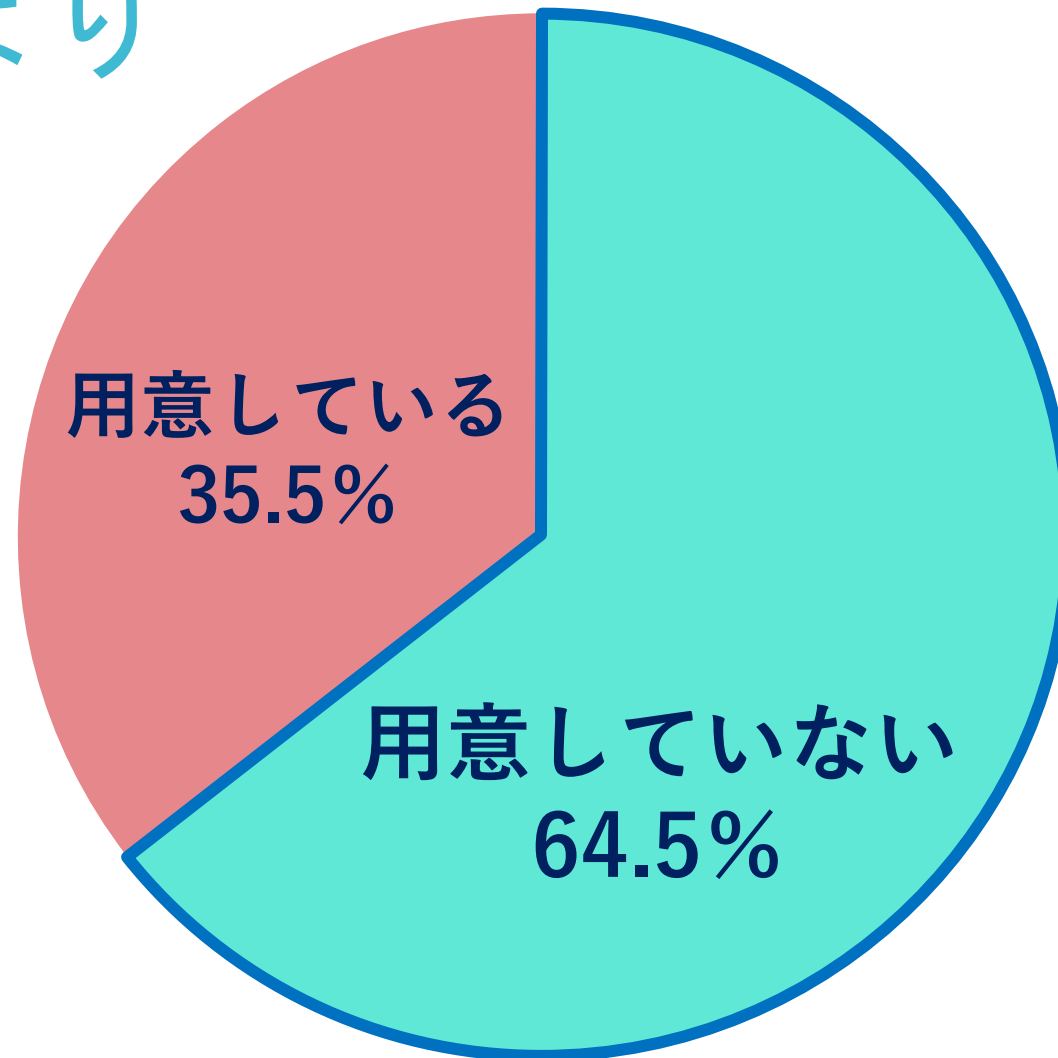


教職員先生方

わからない
6%



全国調査より





その理由

- 何を揃えればいいかわからないから
- お金がかかる、値段が高い
- 用意することが面倒だから



7, 考察

課題：防災グッズの備えができていない



- 関心が低い
- みんなの「わからない」を解決して備えられるようにしたい



身近で簡単に備えられるもの



防災ポーチ



防災ポーチのメリット

※外出時に災害が発生したときに備えて、必要最低限の防災グッズを入れて身につける「持ち歩く防災袋」のこと

- ・ 学生でも簡単に準備することができる
- ・ 持ち歩くことによって安心感が持てる

実際に参考例を 作ってみた

私たちが考える最低限必要だと思うもの→



- ✓ モバイルバッテリー
- ✓ ハンカチ
- ✓ ティッシュ
- ✓ ウェットティッシュ
- ✓ ビニール袋
- ✓ おやつ (1つ)
- ✓ 笛
- ✓ マスク (1枚)
- ✓ 絆創膏
- ✓ ゴム
- ✓ 携帯トイレ (1つ)
- ✓ ナプキン (1つ)
- ✓ カイロ (1つ)

ポーチの例

- 販売店舗 セルバみのぶ店
- 大きさ 縦 15.5cm
横 21cm
- 値段 110円



モバイルバッテリー



携帯は満タんに充電しておく！

ハンカチ(タオル)

セルバみのぶ店



ティッシュ



ウェットティッシュ



水の代用品として使用
可能！

ビニール袋



お菓子



マスク

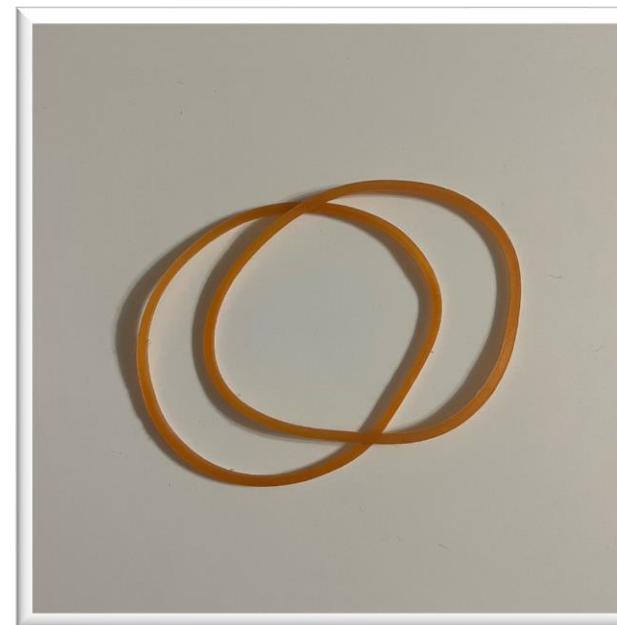


防寒のためにも使用可能！

絆創膏



ゴム



携帯トイレ

イオン甲府昭和店



カイロ



身体が冷えないように！

完成！



地震名	発生日	物資が届くまで
新潟中越地震	2004年10月23日	2日後
東日本大震災	2011年3月11日	1~2日後
熊本地震	2016年4月14日	4日後
北海道胆振東部 地震	2018年9月6日	2日後



県外等から輸送される緊急物資の食料は、
地震発生後 **3日~7日** くらい

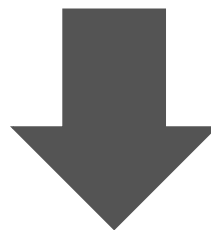
孤立する！

身延町以南 震度7！

52号線をはじめとし、身延町以南では一部震度7が発生し、国道52号による甲府市方面からのアクセスも困難となる。また、ランクAとなる区間が点在する国道139号線、300号線による富士吉田市方面からのアクセスも困難となることから、身延町及び南部町は孤立する可能性がある。甲府市内においても、ランクAとなる区間が点在し、迂回路はあるが交通が混乱する可能性がある。

山梨県（防災シナリオ）（閲覧日：2023年1月11日）

<https://www.pref.yamanashi.jp/bousai/documents/10175699071.pdf>



物資が届くまでに時間がかかる

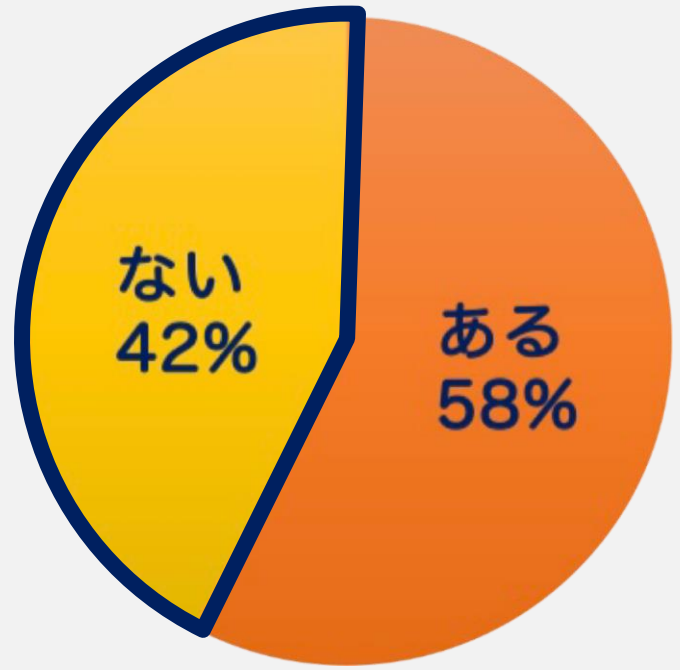
8, 結論

- 事前に備蓄品（防災ポーチなど）の準備をしておく
- 他人事にせず、災害について考える
- 得た情報を周りに発信していく

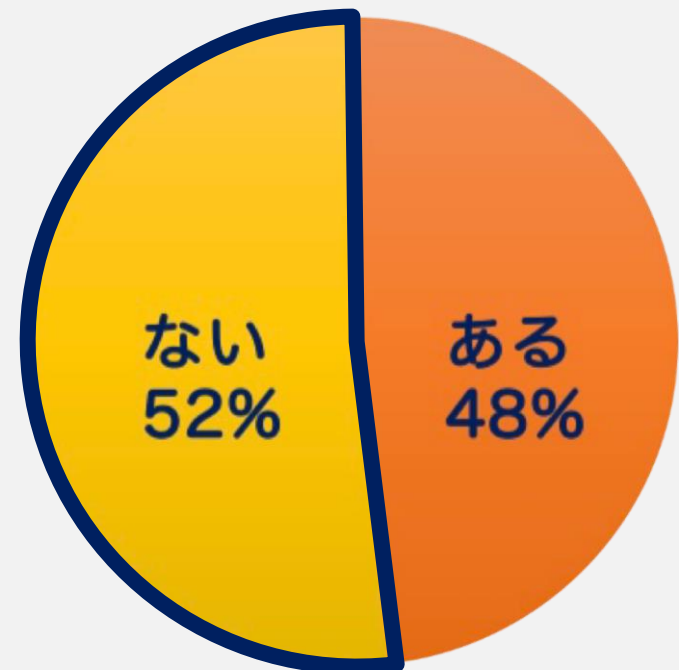
9, 今後の研究

②地域の防災訓練に参加したことがありますか？

2年生



教職員先生方



なぜ半数の人しか？



地震に対する**危機感**が足りない



どうすれば多くの人に参加するようになる？

↑ 今後の課題としたい



30年以内の南海トラフ地震の確率が高い中で、
あなたにできることとは？



10, 参考文献

- ・ 公益財団法人日本ユニセフ協会（持続可能な世界への第一歩SDGs CLUB）
<https://www.unicef.or.jp/kodomo/sdgs/17goals/11-cities/>
（閲覧日：2023年1月11日）
- ・ 地震調査研究推進本部事務局（文部科学省研究開発局地震・防災研究課）
地震に揺らがない国にする地震本部政府地震調査研究推進本部
https://www.jishin.go.jp/regional_seismicity/rs_chubu/p19_yamanashi/
（閲覧日：2023年1月11日）
- ・ 公益社団法人日本技術士会北海道本部（1997）第9回西日本技術士研究・業績
発表大会原稿<https://www.engineer.or.jp/cmt/y/bousai/6.pdf>
（閲覧日：2023年1月11日）
- ・ 山梨県防災局防災危機管理課（2019）山梨県東海地震被害想定調査
<https://www.pref.yamanashi.jp/bousai/documents/96494003966.pdf>
（閲覧日：2023年1月11日）
- ・ 株式会社エコンテ 非常用持ち出し袋[防災セット]による防災意識調査イン
ターネットリサーチ <https://econte.co.jp/works/survival-kit/>
（閲覧日：2023年1月11日）

10, 参考文献

- ・ 内閣府防災資料（物質支援参考資料）

<https://www.bousai.go.jp/updates/h280414jishin/h28kumamoto/pdf/h281114sankou01.pdf>（閲覧日：2023年1月25日）

- ・ 農林水産省（避難所と支援物資）

https://www.maff.go.jp/j/pr/aff/1909/spe1_04.html

（閲覧日：2023年1月25日）

- ・ 埼玉県（3日分以上の水・食料の備蓄～命を守る3つの自助の取組）

<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0401/bousaitaisaku/3day-bitiku.html>

（閲覧日：2023年1月25日）

- ・ 三島市（地震・防災情報）

<https://www.city.mishima.shizuoka.jp/faq000299.html>

（閲覧日：2023年1月25日）

- ・ 宮城県（東日本大震災における 国、県、市町村の対応）

<https://www.pref.miyagi.jp/documents/3686/11shiryou1.pdf>

（閲覧日：2023年1月25日）

- ・ 山梨県（防災シナリオ）

<https://www.pref.yamanashi.jp/bousai/documents/10175699071.pdf>

（閲覧日：2023年1月25日）